

つや姫ごはん

豚肉コロッケ

あさり入り切り干し大根

わかめのみそ汁

ほぼ日刊 夢の華

第765号

神町中学校 夢色通信社

令和2年11月26日

C^カa^ラr^ッa^ト+



芭蕉十泊のまち 尾花沢 山形県少年少女俳句大会

「山形県少年少女俳句大会」は、331年前、江戸時代の紅花商人であった鈴木清風が松尾芭蕉をもてなし、おくのほそみち行脚（あんぎゃ）で十泊した尾花沢市で毎年行われている大会で、今回で31回目を迎えます。「涼しさをわが宿にしてねまるなり」「五月雨を集めて早し最上川」「閑かさや岩にしみいる蝉の声」など芭蕉が残した数々の名句に匹敵する俳句が、神町中学校からもたくさん生まれました。応募総数 4033 句の中から選ばれた入賞作品を紹介します。みなさんは、どの句がお気に入りですか？

尾花沢市教育委員会教育長賞

学校へ勝負しに行くバレンタイン 二年 平山祥暉

秀逸

ひまわりも首をかしげる夏の日々 三年 渡部 結

長い髪ばつさり切った夏の午後 三年 杉浦亜美

ラムネの瓶透かして見える青い空 三年 井澤心海

佳作

夏を待つ新入幕の力士たち 二年 大山諒成

車窓から顔を出したら夏の匂い 三年 大沼玲央那

近所からたくさんもらうさくらんぼ 二年 大場辰哉

夏のプランコナで全部なくなった 二年 松田楽心

ヒグラシと一緒に帰る日暮道 三年 武田大和

おいコロナ僕らの夏を消さないで 三年 佐藤亮祐

七夕でモテ期が来いと祈る俺 二年 奥山 弦

大玉のスイカが占領冷蔵庫 三年 佐藤優衣

入選

しゃぼん玉どこまで行くの旅人さん 二年 豊島希星

部活Y.O.汗がたくさん風呂にGO 二年 橋谷田晶翔

一騎打ち蠅と私の午後三時 二年 阿部真夕

嫌なこと花火の音に掻き消され 三年 藤野心晴

ひまわりに私も負けじと上を向く 三年 林 星風

夏に飲むサイダーの味また違う 二年 岡崎もとか

扇風機こつちを向いてそつちじゃない 三年 荒木佑太

